

心と体を和らげる

毎日すず屋新聞



2025年10月

発行

宣伝課 すずやん

号外

独占取材！院長激白



静かに語る鈴木院長
=8月 すず屋整骨院にて

か?
史院長が静かに口を開く。
「ギャラはいくらですか?」
すず屋整骨院が好調だ。
2024年3月の開業後、
地元民を惹き付け、今や1
時間待ちは当たり前。前職
の地位を捨てて笛吹の地に
開業するまでの苦悩を独占
取材することに成功した。

すず屋整骨院が好調だ。
2024年3月の開業後、
地元民を惹き付け、今や1
時間待ちは当たり前。前職
の地位を捨てて笛吹の地に
開業するまでの苦悩を独占
取材することに成功した。

すず屋整骨院が好調だ。
2024年3月の開業後、
地元民を惹き付け、今や1
時間待ちは当たり前。前職
の地位を捨てて笛吹の地に
開業するまでの苦悩を独占
取材することに成功した。

照れくさそうに鈴木院長
は続ける。「笛吹に、ひい
ては山梨に貢献することを
ずっと考えていました。地
元の方々の仕事の生産性を
上げる、というより、プレゼ
ンティズムを下げると言つ
た方が正しいかな。足が痛
い、腰が痛い、このプレゼ
ンティズムを無くす。そし
て100%の状態で仕事を
してもらう。これがすず屋
整骨院のコアバリューで
す。」「東京で15年経験し
て身につけた横文字もにく
いほど流暢である。最後に
次のステップを聞いてみた。
「で、ギャラはいくらですか?

すず屋ブルーが映える外観



山梨県笛吹市御坂町下野原437-1番地
055-269-6189



すず屋整骨院



山間の盆地で恐ろしく効率的な院内オペレーションを繰り出す。現代のデジタル技術すら凌駕する。



妻の美和氏

院を支えるNo. 2

忙しさは微塵にも感じさせない。特筆すべきは埼玉で身につけたと言われる「美しいスマイル」。患者さんを一瞬で虜にする。「次の方、どうぞー!」今日も声が笛吹に響く。